

大脱走 2 (1988)

THE GREAT ESCAPE II: THE UNTOLD STORY

メディア TVM

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 アメリカ

時間 186分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

第二次世界大戦中のドイツで実際に決行された脱走作戦をオール・スター・キャストで描いた名作「大脱走」。しかしそこでは描かれていなかった、他の脱走に成功した者にスポットを当て、その後日談にまでストーリーを膨らませて製作されたなかなか面白いスピン・オフ作品。

ドッジ少佐（リーブ）とマイク（ハーシュ）はルフト第三捕虜収容所での脱走作戦で命からがら脱獄できたもののドイツ軍の追手に捕らえられ、石の要塞のようなハルトハイム刑務所に収監されてしまう。そこには同じく脱走に失敗した仲間たちが収容されていたが、あの脱走事件を重く見たドイツ司令部はその厄介な捕虜たちをゲシュタポの手を使って抹殺しようと命令を下す。次第に仲間たちが殺されていく中、それを知ったドッチたちはまたもや脱獄を図り、それぞれに国境超えにも成功。そして終戦。しかしジュネーブ協定違反を犯したゲシュタポどもを許せない彼らは捕虜抹殺を指揮したヴィーレン長官（プレザンス）以下の逃亡者たちを軍法会議に掛けて罪を償わせようと、そこから必死の捜査を開始するのだった。

ただ単に「大脱走」の続編を作ろうと考えればマクフィーンたちが新たなる作戦を敢行するという話に落ち着いてしまいそうだが、そこを別の人間たちのエピソードによって路線変更させ、それでいて元となる作品にリンクさせた“ひねり”の効いたストーリーがまず面白い。そして後編の捜査劇のスケールの大きさと演出の良さに加え、前作にも出ていたD・プレザンスを今度は敵役で出演させるという心憎い演出もあって、あの名作には及ばないもののTVムービーとしてはかなり上出来な作品となっている。

【クレジット】

| | | |
|-------|------------------|---------------------|
| 監督 | ポール・ウェンドコス | Paul Wendkos |
| | ジャド・テイラー | Jud Taylor |
| 製作 | ジャド・テイラー | Jud Taylor |
| 製作総指揮 | マイケル・ジャッフェ | Michael Jaffe |
| 脚本 | ウォルター・ハルジー・デイヴィス | Walter Halsey Davis |
| 撮影 | ディートリッヒ・ローマン | Dietrich Lohmann |
| 音楽 | ジョニー・マンデル | Johnny Mandel |
| 出演 | クリストファー・リーブ | Christopher Reeve |
| | ジャド・ハーシュ | Judd Hirsch |
| | アンソニー・デニソン | Anthony Denison |
| | チャールズ・ヘイド | Charles Haid |
| | マイケル・ネイダー | Michael Nader |
| | イアン・マクシェーン | Ian McShane |
| | ミジョウ・コヴァス | |
| | デレク・デ・リント | Derek De Lint |
| | ドナルド・プレザンス | Donald Pleasence |